

山形県中小企業青年中央会

第37回山形県中小企業団体青年部大会

山形県中小企業青年中央会創立40周年記念式典

令和元年度中小企業団体青年中央会東北・北海道ブロック交流会 開催



10月24日(木)、山形市「ホテルメトロポリタン山形」において、山形県中小企業青年中央会と本会の共催で標記大会を開催しました。

青年部大会は、経営視野の拡大と組合青年部の強化、青年部員の資質向上を図ることを目的に例年開催しているもので、次代を担う青年経営者・後継者が一堂に会する交流の場となっています。また、今年度は山形県中小企業青年中央会が創立40周年を迎える年でもあり、その記念式典と中小企業団体青年中央会東北・北海道ブロック交流会も併せて開催しました。

大会当日は、県内青年部員や東北・北海道地区の青年部員等、68名が参加しました。最初に執り行つた記念式典では、安房 毅 本会会長、渡辺真一 山形県中小企業青年中央会会長の挨拶後、来賓を代表して、吉村美栄子 山形県知事(代理 木村和浩 県商工労働部長)、佐藤孝弘 山形市長(代理 斎藤順治 副市長)、田中大裕 全国中小企業青年中央会会長より祝辞がありました。

功労者感謝状授与式が行われ、青年中央会の事業運営に貢献し、功績のあった玉井 優 氏(所属:七日町商店街振興組合／山形県中小企業青年中央会 前会長)、服部 正 氏(所属:山形県屋外広告美術協同組合／山形県中小企業青年中央会 元副会長)、朝倉聖一 氏(所属:山形県電機商業組合／山形県中小企業青年中央会 前副会長)の3名に授与されました。功労者を代表して、玉井氏より挨拶がありました。

記念講演会では、講師の芦埜貴之 河北町商工会産業振興課長より「アンテナショップを介した町の魅力発信について」のテーマのもと講演がありました。講師の芦埜氏は、中小企業の経営支援はもちろんのこと、地域おこしの仕掛け人としてご活躍されています。講演会では、かほくブランドの取組みや、今年1月に東京・三軒茶屋にオープンしたアンテナショップ運営事業について紹介がありました。

講演会終了後は懇親会を開催し、参加者間での情報交換を行いました。懇親会では、県内の名産品が当たるbingo大会や各道県のPRを行い、道県を越えて交流を深めました。

山形県中央会 レディースセミナーを開催

本会では、9月24日(火)に酒田市「ル・ポットフー」、10月8日(火)に山形市「霞城セントラル」の2会場においてレディースセミナーを開催しました。本セミナーは、本会事業である中小企業人材育成事業の一環として組合や組合員企業の女性役職員を対象として開催している研修会で、人材育成および参加者間の交流を目的に実施しています。



今回は、講師としてフリーアナウンサーの山内智香子 氏をお招きし、「今日から使えるビジネスに役立つ美しい話し方」をテーマとした研修会を行いました。

研修会では、講師の山内氏よりコミュニケーションにおける話し方の重要性、良い印象を感じさせる声の出し方、初めて会った人と話すときのコツ等について、山内氏の実演を交えながら説明がありました。参加者は、積極的に実践練習に取り組みながら周りと協力してワークを行い、会場は和気あいあいとした和やかな雰囲気となりました。